

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		津山市		備前市		瀬戸内市		赤磐市			
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1)ハード対策の主な取り組み	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	・流下能力対策(堆積土の掘削や樹木の伐採) ・堤防や広帯等の整備 ・変状などが確認された箇所の速やかな修繕	実施状況	流下能力対策	R2年度			広域河川改修事業21河川、総合流域防災事業2河川をはじめ、県単独事業においても堤防や河道拡幅等の整備を実施 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施 堤防点検等を実施し、緊急の修繕が箇所の対策を実施	発災後から随時 (注には非出水期)												
			今後の予定	整備済	整備済		現在の取り組みを継続	継続実施													
	■危機管理型ハード対策	・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	実施状況	天端の保護	H28年度			優先順位の高い河川の合流点等において天端舗装を実施	R2年度												
			今後の予定	整備済	整備済		優先順位の高い河川の合流点等において天端舗装を実施	～R3年度													
	■避難行動・水防活動・排水活動に資する基盤等の整備	・雨量・水等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況	事務所HP公開ライブカメラ(71箇所)整備済	整備済			危機管理型水位計等の増設(97箇所) 平成30年度～令和元年度で97箇所増設 (吉井川水系 30箇所、旭川水系 12箇所、高梁川水系 19箇所、その他 36箇所)	～R2年度												
			今後の予定	整備済	整備済		令和2年度増設箇所については、令和3年度の出水期までに公開済みであり、更なる増設については、運用状況等を踏まえ、個別に検討を行う	継続実施													
	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布		実施状況					緊急告知ラジオを市有施設、町内会、自主防災組織などに配布 防災行政無線(アナログ、デジタル)、緊急告知ラジオ放送設備の改良 緊急告知ラジオの一般販売	H26～R1年度 H31～R2年度 R3年度	合併旧町村においては、防災行政無線を設置 旧市域においては、緊急告知防災ラジオの無償配布を継続するとともに、販売事業を実施	R3年度	デジタル同報系防災行政無線の整備 工事着手	R2年度～	消防庁にアドバイザーの派遣を要請 将来構想を策定 新防災情報システムの整備完了	H30年度～R1年度 ～R3年度	実施済み FM無線中継局(緊急告知ラジオ用)の整備 移動系代替整備として、MCA無線機を導入 緊急告知ラジオ配布	H30年度 R1年度 R2年度 R2年度～				
			今後の予定				緊急告知ラジオの一般販売	継続実施	事業継続	継続実施	事業継続	～R4年度	情報伝達手段の整理・改良 多様な情報取得手段の普及啓発 新防災情報伝達システムの運用開始	継続実施 R4年度～	緊急告知ラジオの配備促進	継続実施					
	・重要水防箇所の見直し		実施状況	令和3年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(令和2年度の河川事業実施状況を踏まえた見直し等)	R3年度			令和3年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や設備の適正化に伴う廃止等)し、GISを活用した情報高度化の運用開始	～R3年度												
			今後の予定	令和4年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(令和3年度の河川事業実施状況を踏まえた見直し等)	R4年度			令和4年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や設備の適正化に伴う廃止等)	R4年度～												
	・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備		実施状況	保有する水防資機材の状況を平時管理し、必要に応じて補充を実施	R2年度			定期的に各水防倉庫における水防資機材の備蓄状況を確認し、不足等が生じれば適宜補充を行っている	H29年度～	水防倉庫の資機材点検、補充 町内会への備蓄土のう袋提供 一般市民への土のう配布	R3年度	消防施設の整備や、自主防災組織の資機材の整備補助	R3年度	実施済み 避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	R2年度	消防団のライフジャケットの整備 町内会への土のう袋の配布 土のう作業	H29年度～	市の職員を中心に水防資機材の確認、資機材を使った水防訓練を行った	H30年度 R3年度		
			今後の予定	継続実施	継続実施		現在の取り組みを継続	継続実施	継続実施	R4年度	継続実施	継続実施	不足した資材確保の継続実施	継続実施	適宜不足分や追加分の補充等を継続している	継続実施	不足した資材確保の継続実施	継続実施			
	・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や量水機、CCTVカメラの設置		実施状況	危機管理型水位計(3水系で32箇所)や簡易型河川監視カメラ(3水系で94箇所)設置済	～R元年度			<危機管理型水位計等の増設(97箇所)> 平成30年度～令和2年度までに97基箇所増設(吉井川水系 30箇所、旭川水系 12箇所、高梁川水系 19箇所、その他 36箇所) <量水機> 水位計に合わせて設置 <河川監視カメラの増設(67基)> 令和元、2年度で67箇所増設(吉井川水系 18箇所、旭川水系 19箇所、高梁川水系 14箇所、その他 16箇所)	～R2年度												
			今後の予定	整備済	整備済		<水位計・カメラ> 令和2年度増設箇所については、令和3年度の出水期までに公開済みであり、更なる増設については、運用状況等を踏まえ、個別に検討を行う	R3年度(予定)													
	・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備		実施状況	河川・道路管理者が連携し避難階段を整備	H29年度																
			今後の予定	地域住民からの要望を踏まえて、検討を実施	H29年度～																
	・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)		実施状況	令和2年5月29日治水協定を締結済 令和3年11月30日ダム洪水調節機引き続き洪水調節機能の強化に向けた取組を推進	R2年度～			操作規則等の点検を実施し、必要なダムについては、令和3年4月に、操引き続き、適正なダム運用となるよう、適時、操作規則等の見直しを図	～R3年度												
			今後の予定	令和3年度出水期前に実施した「洪水予報連絡会・水防連絡会」にて、随門の操作・管理・連絡体制に関する情報提供を実施済	R3年度～			操作実施者の負担軽減や緊急時の迅速かつ確実なゲート開閉等を目的とし、無動力化(フラップゲート化)を実施	R3年度												
	・種門・種管等の施設の確実な運用体制の確保		実施状況					今後も随門・種管等の施設の確実な運用体制の確保のため、関係機関との連携を図る	継続実施												
			今後の予定					先行事例の情報収集等	R3年度												
・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)		実施状況	ドローンを活用した堤防・護岸等の点検可能箇所の検討を実施	R3年度～			引き続き、先行事例の情報収集・研究に努める	継続実施													
		今後の予定	点検可能箇所の検討を継続実施	R3年度～																	
・内水の排水活動に資する基盤等の整備		実施状況					過去の被災状況、流下能力、土地利用状況などを見ながら、緊急性や必要性の高い箇所から推進 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施	発災後から随時 (注には非出水期)	平成30年豪雨で大きな被害があった排水区を加えた重点地区において、雨水幹線管きま、ポンプ場の下水道整備を推進 町内会への可搬式ポンプの無償貸与	R3年度											
		今後の予定					現在の取り組みを継続	継続実施	継続実施	R4年度											
・応急的な避難場所の確保		実施状況	自治体からの要請があれば検討	R3年度																	
		今後の予定	継続実施	R4年度～																	

項目	事項	内容	状況	美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西粟倉村		美咲町					
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期				
1)ハード対策の主な取り組み	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	・流下能力対策(堆積土の掘削や樹木の伐採) ・堤防や氾濫等の整備 ・変状などが確認された箇所の速やかな修繕	実施状況																		
			今後の予定																		
	■危機管理型ハード対策	・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	実施状況																		
			今後の予定																		
	■避難行動・水防活動・排水活動に資する基盤等の整備	・雨量・水等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況											雨量計増設・河川監視カメラ設置雨量計・河川監視カメラシステム更新と公開	R3年度						
			今後の予定												河川監視カメラ赤外線照射装置設置・温度計設置および温度情報公開	R4年度					
	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施済み	H30年度	実施済み	H28年度									防災行政無線デジタル化施工済移動系無線機(デジタル簡易無線機)の増台(20台→32台)	H29年度 R3年度	防災行政無線に加え、光電話による情報周知を運用中 防災行政無線機の故障対応	R2年度	防災行政無線が担っていた機能をFM告知放送へ移行 ラジオ機能を持ったFM告知機を全戸設置	~R3年度	IP告知無線機の機器更新実施 町全体の100%実施済	~R2年度
		継続実施		継続実施	電波が不安定な地区に対して、IP電話などを配布する									防災行政無線機の追加設置・故障対応	継続実施	防災行政無線機の故障対応	継続実施	FM告知機の追加設置・故障対応	継続	町内告知放送設備(FM告知)の設置	継続実施
	・重要水防箇所の見直し	実施状況																			
		今後の予定																			
	・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	消防施設整備や、自主防災活動の補助金 可搬式排水ポンプの整備	~R2年度	和気町備蓄計画に基づき、水防資材の購入・配備	H30年度															
		今後の予定	継続実施		目標数が揃うまで実施予定	継続実施															
	・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や量水標、CCTVカメラの設置	実施状況	今年度、河川監視カメラ19台を従来型から赤外線タイプのものに更新	R2年度																	
		今後の予定	継続実施		継続実施																
	・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備	実施状況																			
		今後の予定																			
	・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)	実施状況																			
		今後の予定																			
	・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	実施状況																			
		今後の予定																			
・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況																				
	今後の予定																				
・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況																				
	今後の予定																				
・応急的な避難場所の確保	実施状況	未実施																			
	今後の予定	未定																			

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		津山市		備前市		瀬戸内市		赤磐市	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
2)ソフト対策の主な取り組み(①通り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み)																			
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																			
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション(吉井川/金剛川)	実施状況	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表済	H29年度																
	今後の予定	公表済	公表済																
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)	実施状況	洪水予報河川等25河川の洪水浸水想定区域図を公表済(吉井川水系13河川、旭川水系4河川、高梁川水系3河川、その他5河川)その他中小河川20河川の洪水浸水想定区域図を公表済(吉井川水系5河川、旭川水系5河川、高梁川水系2河川、その他水系8河川)その他中小河川38河川について、早期公表に向け作業中(高梁川水系38河川)	～R3年度																
	今後の予定	水害リスク情報の空白域を解消・縮小するため、その他中小河川の洪水浸水想定区域図を順次作成・公表	R4年度～																
・広域避難計画の策定・広域避難体制の構築等	実施状況	幹事会で広域避難の協定事例を構成機関へ共有済	R2年度																
	今後の予定	広域避難計画の作成、広域避難体制の構築に向けて、情報共有を実施	R4年度～																
・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまちごとまことハザードマップ整備	実施状況	赤磐市とハザードマップのL2作成について相談対応	R3年度																
	今後の予定	自治体からの相談に継続対応	R4年度～																
・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進(全対象施設の避難確保計画作成の達成)	実施状況	避難確保計画作成車向上に向け、協議会等の場を活用し、事例や作成状況の共有を行う	R3年度																
	今後の予定	避難確保計画作成車向上に向け、協議会等の場を活用し、事例や作成状況の共有を行う	R4年度																
・共助の仕組みの強化(水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有等)	実施状況	タイムライン検討会を通じて情報共有 要配慮者マイ・タイムラインを福祉関係者へ説明会の開催	R3年度																
	今後の予定	継続実施	継続実施																
・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況	ハザードマップポータルサイトにて洪水に係るリスク情報等を公開中	継続実施																
	今後の予定	継続実施	継続実施																
・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況																		
	今後の予定																		

項目	事項	内容	状況	美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西粟倉村		美咲町			
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期				
2)ソフト対策の主な取り組み(①通り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み)																			
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																			
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、避難シミュレーション(吉井川/金剛川)	実施状況																
			今後の予定																
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)	実施状況																
			今後の予定																
		・広域避難計画の策定・広域避難体制の構築等	実施状況			未実施	H30年度			未実施	R2年度					未実施	R3以降		
			今後の予定			未定	~R4年度			未定	~R4年度						広域的な避難の検討	R4以降	
		・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるとまらことハザードマップ整備	実施状況			未実施	R3年度			未実施	R2年度						土砂災害、浸水洪水区域の変更を反映したハザードマップ更新	R3年度	
			今後の予定			未定	~R4年度			未定	~R4年度							浸水区域、土砂災害区域の見直し結果を反映したハザードマップの整備 継続実施	R4以降
		・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進(全対象施設の避難確保計画作成の達成)	実施状況	要配慮者利用施設の指定	R2年度中	要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援	H29年度~			防災計画に定められている施設(7施設)について、作成を促進 防災計画に定められている施設(7施設)について、作成を完了	R2年度 R3年度						防災計画に定められている施設について、個別計画の作成、訓練実施の啓発	R2~	
			今後の予定	指定施設の避難確保計画策定訓練については、要請があった場合にその都度対応	R3年度~	全て完了するまで実施	継続実施			避難確保計画の見直し、訓練の促進	継続実施								未作成の施設への説明、作成依頼
		・共助の仕組みの強化(水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有等)	実施状況	未実施			要配慮者の個別避難計画作成について、町社会福祉協議会と連携締結	R3年度		要配慮者の個別避難計画について、福祉部局と作成に向けた協議・検討を行った	R3年度	未実施						未実施	
			今後の予定	未定			継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	未定								未定
		・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況			未実施	R3年度			町ホームページからリンクを継続	R2年度	国交省、県のホームページへのリンク設定に加え、気象台の「気象友の会」自治体会員となり降水量・土砂災害の危険度把握能力を向上	R2年度					町ホームページに情報HPのリンク Web版ハザードマップの整備	R1年度~ R3年度
			今後の予定				ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	~R4年度			継続予定	継続実施	継続実施						継続実施
		・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況							未実施								未実施	R2年度
			今後の予定								未定								

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		津山市		備前市		瀬戸内市		赤磐市		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
■情報の伝達・発信	・避難指示の発令に着目したタイムラインの精度向上	実施状況	水系一体のタイムラインの精度向上のため、検討会を複数回実施	R3年度	未実施	R3年度	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確実に伝達し、市町村と協働でタイムラインを作成済タイムライン記載内容や運用について再度確認するよう周知	H30年度	運用に関する検討会やワークショップを実施済み	R1年度	タイムラインの精度向上	R3年度	未実施	R2年度	タイムラインの精度向上	継続実施	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確認し、県と協働でタイムラインを作成している	継続実施		
		今後の予定	PDCAサイクルにより改善	R4年度～	未定	R4年度～	水害タイムラインへの反映を考慮して市町村の避難動向型タイムラインの充実を呼びかける	～R3年度	タイムラインの精度向上	R4年度	継続実施	継続実施	タイムラインの精度向上検討客観的な判断基準等を定めた避難判断伝達のマニュアルの整備	R3年度	避難動向等発令のガイドラインの見直し	継続実施	早めの避難情報の発令に備える避難所の早期開設 河川監視等の報告を災害対策本部会議で共有し、避難情報の発令の判断材料とする	継続実施		
	・多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用	実施状況	水系一体のタイムラインに拡充済	R元年度	未実施	R3年度	吉井川水害タイムラインの運用改善	～R3年度	水系全体の自治体も参加する体制に変更した	R1年度	吉井川水害タイムラインの運用	R3年度	未実施	R2年度	吉井川水害タイムライン検討会に参加	R1年度～	吉井川・旭川水害タイムライン検討会に参加	R1年度～		
		今後の予定	PDCAサイクルにより改善	R4年度～	未定	R4年度～	継続実施	継続実施	関係機関との連携強化	R4年度	継続実施	継続実施	検討	R3年度	今後も関係機関との連携を積極的に検討していく	継続実施	今後も関係機関との連携を積極的に検討していく	R4年度		
	・多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況	未実施	R3年度	未実施	R3年度	リエゾン(情報連絡員)を市町村に派遣し、水害特別訓練を実施した	R1年度～	未実施	R3年度～	未実施	R3年度	未実施	R2年度	未実施(新型コロナウイルス感染症流行に伴い市総合防災訓練は中止)	R3年度	赤磐市総合防災訓練を実施し、時系列に沿った実動訓練を実施 岡山県水害特別防災訓練に参加して風水害に関する図上訓練を実施	H30年度 R1年度		
		今後の予定	R4吉井川水系総合水防演習を開催	R4年度	吉井川総合水防演習(5/21)に参加予定	R4年度	引き続き、市町村の実情に応じた避難訓練等と連携した訓練を行う	継続実施	岡山市総合防災訓練を実施予定	R4年度	未定	未定	検討	R3年度	瀬戸内市総合防災訓練を実施予定	R4年度	赤磐市総合防災訓練を実施予定	R4年度		
	・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート)等水害危険性の周知促進	実施状況	水害リスクラインによる水位情報の提供、氾濫開始相当水位の提供	R3年度	オンラインを含む自治体や自主防災組織などへの講演	R3年度	水防協議会(R1.5.15)において、水位周知河川の指定区域の変更を公表(1河川、R2.8旭川の県管理区間(大臣管理区間上流部～旭川ダム下流)を洪水予報河川に指定 第4回岡山県大規模氾濫減災協議会(H30.5.16)において、全市町村に浸水実績等の資料を提供 現行基準水位の運用等について、関係市町村にアンケート調査を実施 笠ヶ瀬、足守川洪水予報河川の基準水位の見直しを検討	～R3年度												
		今後の予定	継続実施	R4年度～	キキクル「うす紫」と「濃い紫」の統合と「黒」の開始(令和4年6月予定)	R4年度～	備前、足守川洪水予報河川の基準水位の見直しを引き続き検討 水位周知河川の新規指定を検討	R4年度～												
	・危険レベルの統一等による災害情報の充実と整理、洪水予報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況	災害対策基本法の改正に伴う新たな避難情報及び6時間先の水位予報を踏まえた洪水予報発令及び発表形式の見直しの実施	R3年度	洪水警報、注意報の基準変更と、洪水予報の細目協定及び実施要領の改正	R3年度	令和元年度、水位周知情報(氾濫警戒情報、氾濫危険情報)の通知様式に警戒レベル相当や水位状況のボンチ線を追加するなど見直しを行った 課題が生じた場合は、必要に応じて更なる見直しを検討する	R1年度～												
		今後の予定	必要に応じて見直しを行う	R4年度～	必要に応じて見直しを行う	R4年度～	現在の取り組みを継続	継続実施												
	・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの適切な運用)	実施状況	ホットライン構築済	構築済			H30年度出水期前にホットラインを構築、R1年度出水期前に内容を拡充してきており、対象河川について、ホットラインによる情報提供を行っている	～R3年度	ホットライン構築済み	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済み	R1年度	ホットライン構築済	R1年度		
		今後の予定	継続実施	R4年度～			今後も引き続き、ホットラインによる情報提供を行う	R4年度～	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施		
	・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報の情報発信	実施状況	スマートフォン等によるプッシュ型洪水情報発信の実施	R2年度	危険度の高まりのプッシュ型サービスを5つの民間事業者と協力して実施	R3年度	登録制防災情報メールで、気象情報や水位情報、指定河川洪水予報を発信	R1年度	防災メールの普及を推進 LINEによる防災情報の配信を開始	H30年度	随時、市災害情報メールへの登録の呼び掛けを実施するとともに、発信手段を増やした	R3年度	登録型防災メール、スマホアプリの普及啓発実施済み	R2年度	実施済み	H28年度～	出前講座など、地区住民を対象に登録型防災メールの普及啓発実施	H28年度～		
		今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	R4年度～	防災情報メールや防災アプリの登録者数を増やす取組を引き続き実施する	～R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	継続実施			
	・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	危機管理型水位計(3水系で32箇所)や簡易型河川監視カメラ(3水系で94箇所)に情報をリアルタイムで提供中	R2年度			危機管理型水位計等を平成30年度～令和2年度で97基箇所増設 河川監視カメラを令和元、2年度で67基箇所増設し「川の水位情報」で、水位・河川監視カメラ画像などの情報を提供	～R3年度							実施済み	H28年度～				
		今後の予定	継続実施	継続実施			更なる増設については、運用状況等を踏まえ、個別に検討を行う	継続実施							引き続き実施	継続実施				
	・メディア連携分科会を設置し、メディア連携施策のフォローアップ	実施状況	岡山河川事務所公式Twitterを開設	R元年度																
		今後の予定	継続的な情報発信	R4年度～																
	・SNSの活用	実施状況	Twitterを活用した防災情報発信	R2年度			未実施	R3年度	LINE、Twitter、Facebookを活用した防災情報の伝達	R3年度	市Facebook・LINEにて災害情報を配信	R3年度								
		今後の予定	継続的な情報発信	継続実施			活用について検討	R4年度	継続実施	R4年度	継続実施	継続実施								
・水害リスクラインによる情報発信	実施状況	R元年から運用開始。	継続実施																	
	今後の予定	気象庁危険度分布と統合し、直轄河川管理区間部分のリスクライン表示等を行う。	R4年度																	

項目	事項	内容	状況	美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西栗倉村		美咲町	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■情報の伝達・発信	・避難指示の発令に着目したタイムラインの精度向上	実施状況	台風接近等に合わせその都度検証し作成	R1年度	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確認し、県と協同でタイムラインを作成している	H30年度～	風水害に関するタイムラインを作成済 タイムラインの精度向上	～R3年度	台風接近等に合わせ作成	R1年度	台風タイムラインの作成(10号、19号)(R1.8、R1.10)	R1年度	作成済み	R1年度	安全な避難確保が行えるようなタイムラインへの見直しを実施	随時	
		今後の予定	継続実施	継続実施	避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	～R4年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	作成継続、精度の向上	継続実施	精度向上に向けて改良予定	継続実施	継続実施	随時	
	・多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用	実施状況	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度	実施済み	R2年度	吉井川水害タイムラインの運用	R3年度	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度	水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R1年度～	
		今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	R3年度～	継続実施	継続実施	継続運用	R4年度	継続運用	R3年度	継続運用	R4年度	継続実施	R3年度～	
	・多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況	水害を想定した防災訓練の実施	R1年度	岡山県の実施する水害特別訓練へ参加	H30年度～			未実施	R2年度					未実施	R2年度	
		今後の予定	現在、隔年で防災訓練を実施しているが、そのなかで水害を想定した防災訓練の実施	数年おきに実施	未定	～R3年度			未定	～R4年度					各種訓練への参加及び訓練	令和3年度～	
	・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート)等水害危険性の周知促進	実施状況															
		今後の予定															
	・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予警報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況															
		今後の予定															
	・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの適切な運用)	実施状況	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	R2年度～R3年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットラインは構築済	H30年度～	
		今後の予定	継続実施	毎年度	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
	・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の情報発信	実施状況	登録型防災メール、アプリの活用	R1年度	実施済み	H29年度～	登録制メール配信事業の啓発継続 登録制メール配信システム強化見直し ライン配信追加	R1年度 R2年度 R3年度	登録型防災メールの普及啓発継続	R2年度					登録制メールの普及 エリアメール登録	R2年度	
		今後の予定	普及促進	毎年度	スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の配信	～R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施					未定	未定	
	・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	水位計10台、河川監視カメラ19台市HP、アプリ、CATVデータ放送で配信	R1年度			雨量等観測データ及び河川監視カメラ映像を町ホームページ、有線テレビで公開 現在河川監視カメラ5台稼働中 本年2台増設(吉井川水系) 河川監視カメラ機器メンテナンス 河川監視カメラ機器メンテナンス継続	～R3年度	町内2箇所に河川監視カメラを設置しHPで映像公開	R2年度							
今後の予定		継続実施	毎年度				R3年度～	継続実施	継続実施								
・メディア連携分科会を設置し、メディア連携施策のフォローアップ	実施状況																
	今後の予定																
・SNSの活用	実施状況					ラインによる防災、避難情報の通知	～R3年度	未実施		未実施				未実施			
	今後の予定					継続実施	継続実施	未定		未定				未定			
・水害リスクラインによる情報発信	実施状況																
	今後の予定																

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		津山市		備前市		瀬戸内市		赤磐市				
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期			
2) ソフト	対策の主な取り組み ② 冠水特性に応じた効果的な水防活動	■ 防災教育や防災知識の普及 ・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催 ・住民一人一人の避難計画(マイタイムライン)の普及促進 ・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施 ・指導内容に合わせた教材等の作成支援 ・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成 ・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に ・不動産関連事業者への水害リスクの情報提供等	実施状況	水防災に関する講習会や出前講座を複数回実施	R2年度	自治体や自主防災組織などへの講演を行った	R3年度	地域での研修等を利用し、防災知識の普及や啓発活動を実施	H29年度～	出前講座等における防災情報をする中で、水防災意識社会に関する情報を提供	R3年度	自主防災組織や各種団体の会合において出前講座等を実施	R3年度	水防災に関する防災訓練、出前講座を活用した講習会の開催実施済み、特に自主避難体制の強化を図る内容とした	R2年度	水防災に係る出前講座を市内各地で実施	～R3年度	出前講座を実施 非常食の体験試食を実施	R1年度～			
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き、地域での研修等を活用し、防災知識の普及や啓発活動を実施する	継続実施	継続実施	R4年度	継続実施	継続実施	水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催を継続 自主避難体制の強化	継続実施	引き続き実施	継続実施	引き続き出前講座などで市民に対して啓発を行う	継続実施			
			実施状況	マイタイムライン検討ツール「逃げキッド」を作成済	R元年度			講習会や広報の機会を捉えて、マイタイムラインの紹介を行った	R1～	出前講座等において啓発	R3年度	津山市版マイタイムラインを作成し、市ホームページ掲載、防災講話等で普及促進	R3年度									
			今後の予定	意識醸成につなげるため、講習会等を実施	継続実施			講習会や広報の機会を捉えて、マイタイムラインの紹介を行う	継続実施	継続	R4年度	継続実施	継続実施									
			実施状況	小学生を対象とした防災教育を実施	R2年度	中学校と小学校で防災講演を行った	R3年度	小学校の低・中・高学年それぞれの発達段階に合わせた「防災ワークショップ」を作成して県内小学校に配布し防災教育の促進に努めた 防災ワークショップは電子データ化し、県のHPで公開	R1年度	中学校において全校生徒を対象とした出前講座を実施(1校) 市立学校への学校安全アドバイザー派遣を実施	R3年度	市内高校が実施する地域学習において、防災に関する講座、施設見学、防災教育を実施済	R3年度	幼稚園、保育園、小学生、中学生を対象とした防災訓練への参加済み	R2年度	教職員を対象とした防災研修の実施、小学生を対象とした防災授業の実施	H29年度～ ～R3年度	キラリ安全フェスティバルを開催し、気象台にも参加いただき、気象台ブースにて啓発を行っていた 防災授業を小学校で実施	H28年度～ R1年度 R2年度～			
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	防災ワークショップの電子データをHPに公開	継続実施	130校実施予定	R4年度	継続実施	継続実施	防災教育の実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	防災授業を引き続き実施	継続実施			
			実施状況	小学生を対象とした防災カードゲームの普及及び防災動画の視聴	R3年度																	
			今後の予定	継続実施	継続実施																	
			実施状況	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	R3年度	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	R3年度	HPや広報誌、ポスター、チラシ、ラジオ、新聞広告による災害情報の広報・周知を行った 令和3年度7月に「ももたろうの防災」の取組を行い、住民向け広報を強化予定した	H30年度～	出前講座等を利用し、防災知識の普及や啓発活動を行う	R3年度	広報紙への特集記事の掲載を実施 防災出前講座等により、防災知識の普及や啓発活動を行った	R3年度	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知実施済み	R2年度	出前講座等を利用し、防災知識の普及や啓発活動を行う	H29年度～ ～R3年度	地区防災マップを作成済み 広報への特集記事を掲載 出前講座を実施	H29年度～			
			今後の予定	継続実施	継続実施	吉井川総合水防講習(5/21)の展示ブースにてパネル展示やパンフレット配布予定	R4年度	引き続きあらゆる機会を捉え積極的な広報に努める	R2年度	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	R4年度	継続実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	引き続き実施	R4年度～	引き続き実施	継続実施			
			実施状況					地元小学生を対象に災害対策教室等を実施	R3年度	未実施 平成30年7月兼災災害記録誌を作成	R2年度	防災講座等で過去の災害を紹介	R3年度	未実施	R2年度	市総合防災訓練への参加を出前講座等を通じて啓発している	継続実施	出前講座で過去の災害を紹介	R3年度			
			今後の予定					継続実施	継続実施	特に予定なし	R3年度	継続実施	継続実施	未定		引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施			
実施状況	事業者からの問い合わせに対応	R3年度			問い合わせ等があれば対応	R3年度	HPに掲載し情報提供	R3年度	事業者からの問い合わせに対応	R3年度	市HPへの市ハザードマップ・岡山県GIS掲載	R4年度			市防災マップの情報を提供	R3年度						
今後の予定	継続実施	継続実施			継続実施	継続実施	継続実施	R4年度	継続実施	継続実施	市ハザードマップ更新後、データの更新	R4年度			継続実施	継続実施						
2) ソフト 対策の主な取り組み ③ 長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策																						
2) ソフト	対策の主な取り組み ③ 長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策	■ 排水計画(案)の作成および排水訓練の実施 ・排水現場・堤防・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	作成した排水計画を被災協で共有し、関係市町に送付済	R2年度			H30年7月豪雨時のポンプ稼働状況について、関係市町村に調査を行い、一部の施設で操作規則が作成された	～R3年度	国が作成する計画の情報を共有	R3年度	未実施	R3年度	未実施	～R2年度	未実施	～R3年度	未実施	R3年度			
			今後の予定	作成した排水計画を基にした訓練の実施	継続実施			必要な対策を関係市町村と協議しながら検討を進める	継続実施	継続実施	R4年度	未定	未定	未定	～R3年度	未定	R4年度～	未定	～R4年度			
			実施状況	水防団(水防活動を担う消防団を含む)等の参加する洪水に 対しリスクが高い区間の共同点検	R2年度						実施済み	R1年度			河川事務所が実施する共同点検に 参加	H29年度～ 参加	河川事務所が実施する共同点検に 参加	H29年度～ 参加	河川事務所が実施する共同点検に 参加	H29年度～ 参加		
			今後の予定	継続実施	継続実施						継続実施	継続実施			河川事務所が実施する共同点検に 参加	～R2年度 未定	未定	R4年度～ 未定	未定	～R4年度		
			実施状況	関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた(令和3年度～)実働水防訓練の実施	R3年度	未実施	R3年度	関係機関の連携による県水害特別 防災訓練(図上・実働訓練)および水 防技術向上に資する岡山県水防技 術講習会を実施した	R2年度～	毎年度、6月に水防訓練を実施(R3 年度はコロナの影響で中止)	R3年度	隔年で津山市総合防災訓練を実施 (R1年度は岡山県総合防災訓練の 一環として実施)	R1年度	実施済み	H28年度～ 参加	未実施(新型コロナウイルス感染症 流行に伴い市総合防災訓練は中 止)	R3年度	市の職員を中心に資機材を使った水 防訓練を実施 岡山県水害特別防災訓練に参加し て図上訓練、自主防災組織実働 訓練 岡山県水害対応訓練に参加	H30年度～ R1年度 R3年度			
			今後の予定	R4吉井川水系総合水防講習を開催	R4年度	水防講習や各自自治体の訓練に積極的に参加	R4年度～	出水期前に訓練を実施し、風水害に 対する応急対応力の向上を図る	継続実施	継続実施	継続実施	訓練実施予定	R5年度	関係機関が行う水防訓練へ参加	継続実施	瀬戸内市総合防災訓練を実施予定	R4年度	赤磐市総合防災訓練を実施	R4年度			
			実施状況	水防活動の担い手となる水防団(水防活動を担う消防団を含む)員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水防団(水防活動を担う消防団を含む)確保に係る取組)		岡山河川事務所HPに水防団員を募集している旨の記事を掲載済						実施済み	H30年度	実施済み	R3年度	実施済み	H28年度～ 実施済み	～R3年度	実施済み	H28年度～ 実施済み		
			今後の予定	継続実施	継続実施							継続実施	継続実施	市ホームページや広報誌等、団員による勧誘で募集していく	継続実施	市ホームページや広報誌等、団員による勧誘で募集していく	継続実施	引き続き実施	継続実施	市ホームページや広報誌等で募集していく	継続実施	
			実施状況	市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(断水化、非常用発電等の整備)	R2年度			災害拠点病院の洪水対策検討会に オブザーバーとして参加し、技術的 助言を行った	H29年度～	未実施	R3年度	Jアラートとの自動連携を継続している 無償配布及びメールへの登録呼び かけも継続している 自家発電機やバッテリーを整備済	R3年度	未実施	R2年度	未実施	～R3年度	未実施	R3年度			
			今後の予定	引き続き、技術的助言を行う	R4年度～			引き続き業務継続計画(BCP)の作 成、支援体制の整備を働きかける	継続実施	浸水想定区域内の庁舎や災害拠点 病院等に関する情報を共有	継続実施	実施済み	—	実施済み	未定	未定	R4年度～ 未定	未定	～R4年度			
			実施状況	地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築		地域の建設業者による水防支援体制構築済						協定内容の確認を行い、内容に修正等が必要な場合は協議し修正する	H30年度	岡山県建設業協会津山支部等と協定締結	H26年度	地域の建設業協会と協定を締結している実績なし	R2年度	地域の様々な業者等と災害時の協定を締結	～R3年度	赤磐市建設業協会と協定締結 赤磐市総合防災訓練を実施し、協定に基づき土砂撤去、道路啓開訓練を実施	H18年度 H30年度	
			今後の予定	継続実施	継続実施							継続実施	継続実施	関係部局と内容について確認し、必要があれば協定の修正を行う	R4年度	関係部局と協議し、内容の見直し等は都度行う	継続実施	必要に応じて見直し、新規締結等を行う	R4年度～ 未定	赤磐市総合防災訓練の中で実施予定	R4年度	

項目	事項	内容	状況	美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西粟倉村		美咲町					
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期				
				進捗管理シート(吉井川)																	
1)	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	各団体からの要請により実施	R1年度	実施済み 町内イベントに防災ブースを出展 出前講座を実施	H29年度～	防災イベントの開催	～R3年度	消防団と連携し、中学校で防災に関する講座を実施 自主防災組織を対象に地区防災計画の取り組みに関する講習会を実施	R3年度							自治会、ケア会議等での出前講座などを実施	年間		
			今後の予定	継続実施	毎年度	実施予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施								出前講座などを活用しながら、防災意識向上を実施していく	随時	
		・住民一人一人の避難計画(マイタイムライン)の普及促進	実施状況						現在作成中のハザードマップに掲載予定	R3年度	未実施								地域自主防災組織を中心に啓発を実施	R3～	
			今後の予定						継続実施	継続実施	ハザードマップの更新に合わせて掲載予定 ホームページ、広報紙掲載等により周知し、作成を促進	R4年度							継続実施		
		・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	実施済み	R1年度	小中学校で防災に関する授業を実施済み	H29年度～	教員を対象に実施(1回) 出張防災講座の開催(2小学校) 出張防災講座の開催 小学校(2校)	R1年度 R2年度 ～R3年度	教育委員会と連携し教職員への防災研修	R2年度 R3年度								中学校区での危険箇所の把握及び非常時の訓練など 小学生を対象とした、消防団による防災教育などを実施	R2年度	
			今後の予定	継続実施	毎年度	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施							継続実施	随時	
		・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況																		
			今後の予定																		
		・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	出前講座、広報紙へ特集記事の掲載 CATVで啓発	R1年度	出前講座等を利用し、防災知識の普及 及啓発活動を行う	H29年度～	出張出前講座の実施	～R3年度	ポスター掲示	R1年度	ポスター掲示	R2年度	ポスター掲示	R2年度	ポスター掲示	ポスター掲示 広報紙での啓もう活動				R2年度-
			今後の予定	継続実施	継続実施	実施予定	～R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	ポスター掲示	継続実施	継続実施	継続実施				継続
		・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況	防災講話等で過去の災害を紹介	R1年度	町内イベントに防災ブースを出展	H29年度～	過去の災害箇所の石碑を自然災害 伝承碑に登録	R1年度 R2年度	未実施	R3年度	防災訓練の実施(R3.11) 水害記録碑の登録(三穂神社)	R3年度	コロナ禍を受け「今日はおうちで防災訓練！」を実施 防災訓練期間に合わせ、中央公民館に防災特設コーナーを 設置(関連書籍や防災グッズ展示、来場者が自由に書き込める「平成30年7月豪雨～私の記憶～」設置等)	R2年度	未実施					R2年度
			今後の予定	継続実施	毎年度	水辺の楽校等での展示を検討	R2年度～	継続実施	継続実施	自主防災組織等と連携した訓練実施	R4年度	防災訓練の実施(R4.11)	R4年度	総合防災訓練にて河川災害も想定した訓練を検討中	R4年度	地域での防災訓練や学習会での地域での災害の継承を随伴					R3年度～
・不動産関連事業者への水害リスクの情報提供等	実施状況	未実施				ハザードマップの提供	R3年度	事業者からの問い合わせに対応 ハザードマップ(HP)の案内	R3年度	未実施		未実施		未実施							
	今後の予定	未定				継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	未定		未定		未定							
2)ソフト対策の主な取り組み ②冠水特性に応じた効果的な水防活動																					
2)	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団(水防活動を担う消防団を含む)等が参加する洪水に 対しリスクが高い区間の共同点検	実施状況			河川事務所が実施する共同点検に 参加	H29年度～														
			今後の予定				河川事務所が実施する共同点検に 参加	～R4年度													
		・関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた(令和3年度～)実働水防訓練の実施	実施状況	隔年で総合防災訓練を開催	隔年	新型コロナウイルスの影響のため、未実施	R3年度	隔年で総合防災訓練を開催		地区防災計画策定に当たり地区、消防団等と連携し防災重点ため池等の確認、土のう作成訓練実施 未実施	R2年度 R3年度	未実施	R1年度						砂門、陸開などの設備の点検方法 等の再確認	R3年度～	
			今後の予定	総合防災訓練を実施予定	R3年度	実施予定	継続実施	総合防災訓練への参加予定	R4年度	総合防災訓練実施予定	R4年度	R3年度実施予定	R3年度						継続実施	R3年度～	
		・水防活動の担い手となる水防団(水防活動を担う消防団を含む)員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水防団(水防活動を担う消防団を含む)確保に係る取組)	実施状況	実施済み	R1年度	実施済み	H28年度～			ポスター掲示	R2年度	消防団と連携 水防月間ポスターの掲示等による広報を実施	R1年度						ポスター掲示他	継続	
			今後の予定	主に団員や学校を通じて広報	継続実施	今後もホームページや広報誌等で募集を継続する	継続実施			継続	継続実施	継続実施	継続実施						継続実施	継続	
		・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(断水化、非常用発電等の整備)	実施状況					役場本庁舎への非常用発電設備設置(72時間、ディーゼル方式)	R3年度			未実施	R3年度							未実施	R2年度
			今後の予定					未定	～R4年度			未定	R4年度							未定	未定
		・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	建設業協会美作支部等と協定締結	H19年度	未実施	R3年度	建設業協会との協定	～R3年度	岡山県建設業協会美作支部との間で協定締結し支援体制構築済	R2年度	岡山県建設業協会美作支部、三共 リース津山営業所との間で協定締結し支援体制構築済	R1年度						建設業協会等との防災協定	継続	
			今後の予定	今後も引き続き、新たな支援団体が あれば協議、検討していく		未定	～R3年度	今後も引き続き、支援協定をいただける団体と協定締結に向けて検討を実施	継続実施	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	—	—	—						継続実施	継続	
		2)ソフト対策の主な取り組み ③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策																			
		2)	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水現場・堤防・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	未実施	R2年度	未実施	R3年度			未実施	R3年度							未定	未定
今後の予定	未定				未定	未定	～R4年度			未定	～R4年度							未定	未定		